



かなざわ

民児協だより

2022.12

第58号

金沢区役所 福祉保健課
横浜市金沢区泥亀 2-9-1
Tel. 788-7820

発行責任者 金沢区民生委員児童委員協議会 会長 寺木 好子

委嘱辞令伝達式が行われました



令和4年12月1日、3年に一度の民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選があり、金沢公会堂にて委嘱式が行われました。今回は、238名（内、主任児童委員が30名）が委嘱されました。男女の内訳は男性38名、女性200名となっています。また、区民児協会長・副会長、主任児童委員代表が選出されました。

金沢区民生委員児童委員協議会

会長 寺木 好子
副会長 関根 とみ江
鈴木 節子

金沢区主任児童委員連絡会

代表 魚谷 晶子

退任感謝会が開かれました

今回74名の委員が退任されました。これまでの委員の労をねぎらい、「感謝会」が12月19日に金沢公会堂にて催されました。最も長期に関わってくださった方は、29年間でした。お疲れ様でした。ありがとうございました。



どうぞ宜しく

新会長 寺木 好子



地域の身近な相談役として、お困り事を「うけとめて」行政機関等へ「つなぐ」役割を果たし、皆様に信頼されるよう活動してまいります。

お世話になりました

前会長 沓澤 和子



皆様のお力でコロナ禍の中、ひとり親家庭の方への食料支援を実施する事が出来ました。今後とも皆様のご活躍を祈念しております。

研修企画部会の活動

全員研修会を開催しました

令和4年11月1日 於：金沢公会堂
講師：大島 武 氏（東京工芸大学芸術学部教授／芸術学部長）

今回は期の締めくくりの研修としてふさわしい内容にしようと思われ、年初から決めて動き、念願の大島先生にいらしていただくことができました。当初は7月の開催でしたが、諸般の事情により延期に。ぎりぎりの11月開催となりました。

私たち民生委員児童委員がお役目をするうえでの「相談支援活動に役立つコミュニケーション」について講演いただきました。「相手に届く話し方」や「わかりやすく話すには」では、相手が何を聴きたいかを察知する、数、決まり、事柄など具体的なことで言う、相手が理解しているか否かを見つつ進めるという事が大切とのこと。また、相手の話を聞く際はその思いをくみ取りながら言葉のキャッチボールをしていくという事でした。総合するとやはり相互に相手の立場を思い、具体的に話すことがベストという事でしょうか。

私たちのお役目に限らず、社会の中で生きていくには他者とのコミュニケーションは欠かせません。大島先生の聴衆を飽きさせないテンポの良い、話の運び方も素晴らしく、今後非常に有用な研修会になりました。



♪ 質疑応答 ♪

- Q. 伝えにくいこと、言いにくい内容は、どのように伝えたらよいか。
A. “言いにくい内容”はおそらくネガティブな反応が返ってくると想像できるから。だから、理由や根拠をきちんと言おう。「ちょっと言いにくいんですが」などの前置きは不要。きちんとってからそののちフォローすればよい。
Q. 結論を先に言うと、「あ、そう。」で終わってしまい話がつながらない。つなぎ方としてはどうすればと悩む。
A. その人はそれで理解したのである。結論しか求めない人には、それで良いのではないか。

意見交換会～課題を考える～

令和4年9月29日 金沢区役所 各会議室

「100周年活動強化方策」の重点1と重点2を課題に挙げ、各地区ではどんなことを行ってきたか、考えてきたかを意見交換しました。（16地区、47名参加）

重点1. 地域のつながり、地域の力を高めるために

- ◆自治会・町内会や行政・地域包括支援センターとの連携をとる。
- ◆民生委員同士で活動に関する情報を共有することが必要である。
- ◆地域で民生委員への理解が深まると地域の力が変わってくる。
- ◆自治会・町内会未加入者への対応をどうするかを考える。

重点2. さまざまな課題を抱えた人びとを支えるために

- ◆声をあげてもらえないと繋ぐことが出来ない。どう声をあげてもらうかが大事である。
- ◆日ごろから地域とつながりを持ち課題を抱えた人の情報を得るように努める。
- ◆日ごろから声をかけることが大事である。

全体の感想 ♪ 他地区の活動が聞けて参考になった。 ♪ いろいろな意見があって有意義だった。



研修企画部会委員

中村 允 田中 恵子 米山 博美 磯邊 晴夫
杉浦 千鶴 齋藤 直美 加藤 良子 富澤 勝
小杉 孝雄 齋藤 裕子 山口 里枝 三井やよひ
森田 敏江 安斎 早苗 片野 真弓 松崎 嘉子
阿部 絹代 屋代 正樹 坪井真由美/
岡田須美子(区副会長)

主任児童委員の活動

スクールソーシャルワーカーとの意見交換 令和4年7月28日 於：金沢区役所

7月の金沢区主任児童委員連絡会において5名のスクールソーシャルワーカー（以下SSW）をお招きし、SSW業務内容についての研修と、グループに分かれての意見交換を行いました。

SSWの仕事は、子どもや保護者個人の心理面をサポートするスクールカウンセラー（以下SC）とは異なり、子どもたちの環境（学校と家庭、地域）に働きかけ、つなげることで包括的に解決を目指すものです。

SSWとなるには専門資格が必要であり、横浜市内に置かれた4つ（東西南北に分けた地区）の教育事務所に所属し、1人のSSWが小中10校程度を定期的に巡回して支援を行っています。

今回の研修を受けて「顔が見える関係」になったことで、地域連携を目指すSSWと主任児童委員がタッグを組みやすくなったと思います。互いに情報共有ができ、より細やかな支援ができるのではないかと希望をもちました。



「金沢まつり いきいきフェスタ」に参加しました！

令和4年10月15日 於：海の公園 なぎさ広場

不安定な社会情勢のため、中学生ボランティアの参加は叶いませんでしたが、仲間と、そして親子のみなさんと楽しい時間を過ごしました。

例年とは異なる場所に不安もありましたが、「楽しかったねえ」とお父さんお母さんと顔を見合わせ、参加賞を握りしめるお子さまの姿にほっこり。

主任児童委員をやっていてよかったと、心から思った一日でした。



紙飛行機・ぬり絵・
たま入れ・わなげ、
各ブース準備風景

子どもたちに大人気の
貸出しおもちゃです。
サークルやサロンに
レンタルできます。
区役所にお問い合わせ
ください。



お昼前には
行列ができる
ほどでした！



全員そろっての
いきいきフェスタ。
さあ、始まります！



主任児童委員

魚谷 晶子	坪井真由美	崎原美佐緒	竹 里佳
長濱 恵	角田 純江	山口 克枝	糸乗 深雪
織田 みほ	早川 和子	細川 由紀	仙名 裕子
山本 直子	林 友理子	岩室 誠子	菅 孝子
池口 絹代	久保田真由美	蒲谷佳代子	物井 眞澄
川見みゆき	中島由美子	大川 智子	鈴木 宏枝
関澤ゆみ子	長瀬 美鳥	鈴木 晴美	野中絵里子

富岡第一

「もしもしお変わりありませんか？お加減はいかがですか？」受話器の向こうからは「元気ですよ！」の「お元気コール」。ここは山坂の多い地域、ひとり暮らしの高齢者宅へトイレトペーパー等を手土産にピンポン！の「お元気訪問」。「〇〇ちゃん元気？」飛び交うママ達の円の中にはなんとパパの姿、コロナ事情を反映している最近の「お元氣スクスク」。今日はカレーの日、おばあちゃんも小さな子どもたちもカレーをもらっておうちでパクパク。毎月第2土曜日は「お元氣子ども食堂」。合言葉は「お元氣」私たちの活動です。



富岡第三

5町内会から推薦された14名の委員で活動中。住宅開発から50年以上が経ち、高齢化率が高い。坂が多く、買い物の不便さに移動販売車の運行を歓迎!!各町内会独自の活動が活発で、防犯・防災意識も高く「誰もが安心して暮らせるまち」をめざしています。富岡地域ケアプラザでの定例会では、日々の活動で困った事、わからない事など事例をもとに話し合います。地区社会福祉協議会からの助成金を活用し「すくすく広場」のイベント、ひとり暮らし高齢者へお茶・マスク配付や交流会を行っています。



富岡第二

私たちの地区は、11名の委員が活動しています。ひとり暮らし高齢者見守り活動。年2～3回の配食を実施しています。コロナ禍で手作りの弁当をお届けするのは難しい状況です。通常の活動が出来る事を願うばかりです。子育て支援フリースペース「ころころ」では、四季の行事も開催し、子どもたちの可愛い笑顔が溢れています。童謡を歌う会「ゆりかご」は、金沢区の「街の先生」にご指導を頂き、地域の方々がいちいちいろいろなジャンルの曲を楽しく唄っています。私たちは、地域の皆様との輪、そして委員相互のチームワークを大切に日々和気あいあいと活動しています。



富岡西・能見台

コロナ禍以前は、能見台地域ケアプラザや保健活動推進員の皆様とともに、地域の方々とのお蕎麦づくりや、運動不足解消の体操などを行っていました。現在はコロナ禍で活動に制限がありますが、町内会と連携し、公園の整備や小学校での防災訓練等に定期的に参加しています。民生委員活動の本来の意味とは何か、また、地域のためにどんなことを行うべきかを改めて思索しながら、これからも地域に根ざし、明るく活動を進めて参ります。



○整形外科 ○リハビリテーション科 ○リウマチ科 ○訪問診療(往診)

中村整形外科 〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東2-20-9 ☎045-783-2855

診療時間

	AM	PM
平日	9:00~12:00	3:00~7:00
土	9:00~12:00	3:00~5:00
日・祝	9:00~12:00	

理学治療時間

下記の時間いつでも受けられます	
平日	午前8:00~午後7:00
土	午前8:00~午後5:00
日・祝	8:30~12:00

● 年末年始を除き、年中無休で診察しています ● 駐車場完備

往診 (月曜日~土曜日) | 通院が困難で、ご希望の方は ☎045-783-2855 に気軽にお申し込み下さい。
(健康保険の範囲で、それ以外はかかりません)

能見台

長引くコロナ禍ではありますが、少しずつ地域をつなぐ催し物が開催され始めています。2丁目では落語会が開かれ、多くの高齢者の方々のいきいきとした顔を拝見することができました。3丁目ではリニューアルした会館に様々な年代の方をお呼びしたくて、企画を検討しています。近くだからこそ足をはこんでもらえるように、町内会と協力しながら、人と人とをつなぐ何かを模索しつつ、民生委員はそれぞれ地域に密着した活動を行っています。



金沢東部

この数年コロナ禍で不自由な生活が続いています。ワクチン接種の時には、慣れないスマホやパソコンで予約しなければなりません。そこで、高齢者を対象とする「スマホ入門講習会」を、4つの町内会館で開催することにしました。6月から10月にかけて、高齢者のスマホ教室の経験のある講師を招き、シリーズで行いました。この講習会の参加がスマホの操作だけでなく、新たなコミュニケーションの場を広げるお手伝いになればと願っています。



金沢シーサイドタウン

「こどもホスピスの田川代表のお話」「消防署警察署の孤独死対応」「日々の活動の中からの事例研究」「他地区での取り組みを現地で学ぶ」などの研修会を開きました。地域住民からの声をもとに、シーサイドタウン地区独自の「**デイサービスマップ**」を区社協やケアプラザ、各事業所の協力を得て作成することができました。またコロナ禍を機に自主事業を見直し、新たにサロン「みんな」「なみき de トコトコ+」の活動を本格的に始めました。



金沢中部

私たちの地区は、5つの町内会と2つの自治会で構成され、15名の委員が活動しています。毎月の例会は会長からの区民児協の報告と、委員からの事例報告です。ある事例に対して全員が意見を出し合います。一人ひとりが孤立することのないように、サポートしていく仲間づくりに努めています。さらに各町内会の行事「ふれあいサロン」「新春の集い」には必ず参加し、ひとり暮らし高齢者との交流を大切にしています。



医療法人 中村会

介護老人保健施設 **あさひな**

〒236-0034 横浜市金沢区朝比奈町107
☎045-788-1133 FAX045-788-2225
<http://www.rouken-asahina.jp>

◎サービス内容◎

入所サービス 152人
短期入所サービス(ショートステイ)
デイケア(通所リハビリテーション) 45人
訪問リハビリ

金沢南部

昨年度は、活動全体の明確化や働き方の円滑化、自発的な活動を狙いとし、当民児協の「会則」と「運営内規」を総会で承認し、施行しました。また、定例の年2回のティッシュ配付に加え、マスク1箱をひとり暮らしの高齢者宅に配付し、見守りの機会を増やしてきました。さらに今年度は、昨年度の活動の継続に加え、地区民児協研修会を開催し、事例を通じ、委員相互の向上を図っています。



六浦東

地域の高齢者お一人おひとりの家庭を訪問し、顔を合わせてお話を伺っています。短い時間ではありますが近況をたずね、「心配してくれていつもありがとね。」の一言に私たちも励まされています。当地域は金沢区の外れに位置し、医療機関は大病院から診療所まで揃ってはいるものの、身近に商店が少ないため、健康面よりも生活面での心配事が多いようです。これらの諸問題に寄り添い、一人ひとりに合わせた手助けと見守りの大切さを感じています。



金 沢

私たちは17名の委員で活動しています。地域の見守り拠点の1つ「なごみ会」をご紹介します。地区社会福祉協議会の補助金で、5年ほど前から、おしゃべり・手芸・大正琴の伴奏での歌う会・笑いヨガ・ボランティアによる落語会等、毎月1回高齢者の方々に、楽しんでいただいています。コロナ禍では、お家でできる脳トレの資料をお渡ししました。今年7月からは体操教室も始まり、いつまでもお元気で暮らせるお手伝いができるよう、今後もいろいろな催しをしたいと思います。



六 浦

歴史と文化の街、みどり豊かな住みやすい街金沢。その一角にある六浦地区は（六浦睦町内会・瀬戸町内会・八景東町内会・アネックス自治会・柳町町内会・塩場町内会・六浦南町内会・レイディアント自治会）で成り立ち23名で頑張っています。今年は改選年にあたり、会長・副会長含め9名が退任しました。新たに選任された仲間と心機一転、地域との協働により、支えあえる地域づくりを目指して進めていきます。退任された皆さんお疲れ様でした。



景翠会 金沢病院グループ

<http://www.keisukai.or.jp/>

金沢病院

TEL 045-781-2611

・内科・整形外科・外科・脳神経外科・脳神経内科
・糖尿病内科・眼科・リハビリ科・麻酔科

企業健診

TEL 045-786-9724

福浦健診クリニック

介護老人保健施設

こもれび TEL 045-782-5611

ふるさと

TEL 045-788-8911

在宅サービス

けいすいケアセンター

・ケアプラン作成
・訪問看護
・訪問介護
・小規模多機能さとやま
・訪問看護
・デイサービス
・福祉用具貸与

TEL 045-791-7611

六浦西第一

歴史ある地域の5つの町内会から14名の委員が活動しています。昨年度の活動目標は『地域で見守り、地域とつながり、地域と育つ』でした。地域住民が安心して暮らせるよう福祉活動の把握や、解決につながる活動が展開できるように、ともに学んでいきたいと『傾聴』などの研修を行いました。長く住み続ける方も多いこの地域で、ご近所づきあいから得られる情報は、私たちの見守り活動の心強い支えです。



六浦西第三

私たちの地区では、見守り活動の中で気付いたことや疑問点、提案など、何でも気軽に話せるように日ごろから親睦を深めています。「コロナ禍での行事はどう開催している?」「うちの地区はパーティーを手作りしたのよ。」「うちの地区にも作ってくれないかしら?」など、お互いの活動を参考にしながら、楽しく地域の見守り活動ができるように心掛けています。



六浦西第二

私たちの地区には8つの自治会町内会があり、17名の委員がいます。事例研究をしたり、情報交換をしながら解決策を模索したり、日々仲間や地域とのつながりを大切にしながら活動しています。今回の改選により6名の委員が入れ替わりました。今まで積み上げてきたことを引き継ぎながらも、新しい委員と共に今後も区や地域ケアプラザと連携を取りつつ、状況に応じた活動を心がけていきたいと思っています。



釜利谷

改選の年を迎えるにあたり、さまざまな制限・制約があったコロナ禍の経験を教訓にし、次につなげよう!と全員アンケートを実施しました。多くの出会いから地域をより深く知ることができ、「つなぎ役」としてやりがいを感じる一方、難しさを感じている等の声も寄せられました。改めて、大人数36名の強みを生かし、委員相互の支え合いを柱に情報交換を行いながら、一人ひとりが住む町で役割を務めてまいりたいと思います。



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん



横浜市版
民生委員・児童委員キャラクター
よこはまミンジー



令和4年度街頭募金実績
226,439円

10月1日に、16地区の民生委員・児童委員の活動により、集まった募金総額です。
皆さま、ありがとうございました。

*この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。

令和4年度「全員協議会」開催 5月13日

金沢公会堂にて211名の民生委員・児童委員、主任児童委員が出席し開催されました。各事案の審議後には、金沢警察署の西菌茂久氏によるご講演、神奈川県警察音楽隊による素晴らしい演奏がありました。



金沢まつり いきいきフェスタ 10月15日

海の公園なぎさ広場で3年ぶりに開催された「金沢まつりいきいきフェスタ」にて、民児協広報・啓発の一環として「コーヒーコーナー」と「子どもの遊び場」を出店しました。久しぶりに大勢の方々と触れ合い、たくさんの笑顔を見ることができました。



令和4年度 表彰受賞者 (R4.11.30 現在)

藍綬褒章 沓澤 和子

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

永年勤続単位民児協役員表彰

岡田須美子

民生委員・児童委員功労者表彰 (20年)

金子 和子 岩室 京子 関根とみ江
岡田須美子 長瀬 美鳥

永年勤続民生委員・児童委員表彰 (10年)

長尾 理香 魚谷 晶子 岡田真理子
杉浦 千鶴 小杉 孝雄 木村 悦子
坪井眞由美

横浜市社会福祉・保健医療功労者市長表彰

25年 岩田 幸子 関根とみ江 長島 守明

20年 金子 和子 岩室 京子 田中 恵子
岡田須美子 長瀬 美鳥

15年 青木美以子 蒲谷美千子 浅野 秀子
亀島由美子 神尾 俊久 弘田田鶴子
露木よし子 布川 典子 三井やよひ
近藤 和美 川見みゆき 阿部 絹代
木村 悦子 佐橋 暁子 寺木 好子
真鍋 政代

横浜市社会福祉協議会会長表彰 (20年)

金子 和子 田中 恵子 岩室 京子
関根とみ江 岡田須美子 長瀬 美鳥

10年 長尾 理香 岡田真理子 杉浦 千鶴
岩本 素子 最上 幹子



編集後記

今年は一斉改選が行われ「民児協だより 58号」は、2か月早いお届けとなりました。この3年間は紙面作りにもコロナ禍の影響を受けましたが、工夫とアイデアで、新しい取り組みもできました。今号は、16地区の紹介文と委員の集合写真を載せました。日頃の活動は、コロナ禍で制約があるものの、私たちの「うけとめてつなぐ」役割は少しも変わりません。今だからできる活動もあります。マスクなしで触れ合い、地域の方々の笑顔がもっと見られるよう、一日も早い終息を願うばかりです。

広報編集部会委員

青木美以子 吉野 郁世 長尾 理香 岡田真理子 香川 里美 能代茉莉花 加藤 律子
秋元 雅江 藤田 康之 佐野 国弘 緒方 芳樹 立松 成子 深津早百合 足助 次男
井川こずえ 加藤 悦子 水谷多美恵 足立 信子 崎原美佐緒 寺木 好子(区副会長)